

シカの生態・特徴と対策



これってシカ？ ! 危険信号!



フン



皮剥ぎ



侵入跡

生態について

- ・ **昼夜問わず**、活動する。(警戒しなくなったら、昼でも人前に出てくる。)
- ・ **草食性**で植物はほとんど食べる。量は1日に3~4kg!
(冬には、秋に草刈りをした道路わきや畦畔などに芽吹いた緑草を食べる。)
- ・ 一定の地域に定着して生活するが、繁殖活動のための**季節的な移動**をすることも。
- ・ 基本的に**年1回出産**するが、栄養状態が悪ければ出産間隔は空く。
- ・ シカの一生で最も死亡率が高いのは**0~1歳**であり、要因は冬の餌不足である。
(冬に餌が多いと、多くの子供が生き残る。)

特徴について

- ・ 嗅覚に優れているが、忌避剤などにはすぐ慣れてしまう。
- ・ **記憶力**に優れ、嫌な体験をしたことは忘れない。(だからこそ、電気柵は有効である。)
- ・ **20cmの隙間**をくぐり抜ける柔軟さもある。
- ・ 蹄はあまり丈夫ではないため、**足場の悪いところを嫌がる。**
- ・ 2mほどの高さを跳び越えるほどの**跳躍力**を持っている。
- ・ シカが高密度状態で分布する地域では、シカの口が届く範囲の下草や下枝がなくなる**ディアライン (シカ接食線)**が形成されることもある。

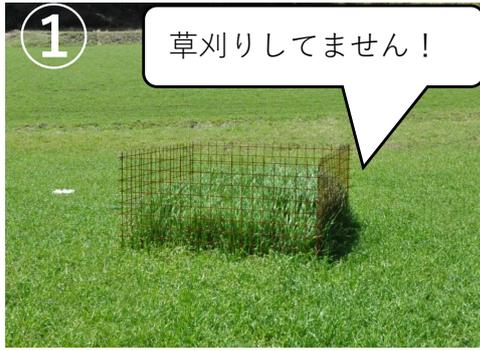
対策について

シカは、**集落内の植物や青草を求めて**やってきます。
そのためには、シカのエサ場にしないよう、エサを減らす取組が必要です。

柵の設置や捕獲は、この確認をしてからにしましょう。

詳しくは、裏面を御確認ください。

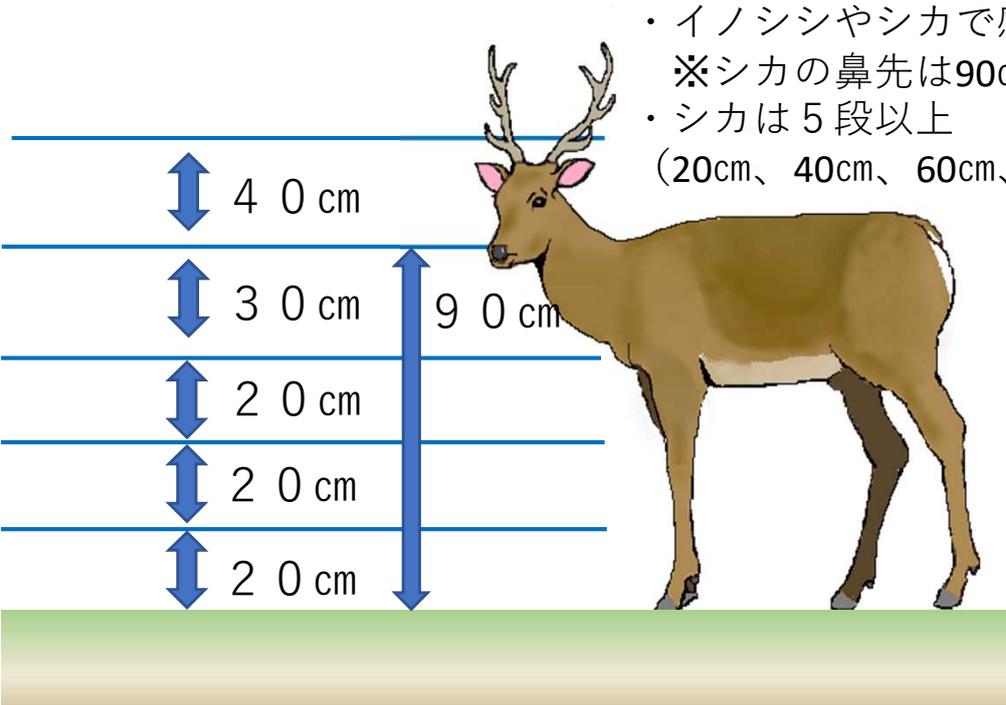
『飼料作物も被害対策すること』



『農地を餌場にしないこと』



防護柵設置について



- ・イノシシやシカで感電するのは鼻先や口先だけ！
- ※シカの鼻先は90cm前後
- ・シカは5段以上
(20cm、40cm、60cm、90cm、130cm)

【設置のポイント】
飛ぶイメージが強いシカですが...
侵入のほとんどはもぐりこみ！

①隙間を作らない。
②地際を補強する。